

9月11日(水)、山形県最上地域の児童・教諭・職員約50名をお招きしての「最上交流学習」が行われました。この学習は、中部広域市町村圏事務組合の事業の一環として行われるもので、本校の6年生と最上地域の6年生と一緒に学習をしました。

歓迎式では、最上地域の児童から山形の踊りや山形県クイズなどが披露されました。また、栄口青年会にエイサーの演武を披露して頂きました。初めてエイサーを見る山形の子どもたちは、迫力あるエイサーの演技に見入っていました。ちーたんも歓迎に駆けつけてくれました。

体験学習では、「三線体験」「ストラップづくり」「エイサー体験」の3つのプログラムを両県の児童と一緒に体験しました。「三線体験」では、講師の先生から三線のひき方を教わり、「キラキラ星」をみんなで演奏しました。「ストラップづくり」では、北谷町のマスコットキャラクター「ちーたん」と沖縄のお守り「さんぐわあー」づくりに挑戦しました。「エイサー体験」では、栄口青年会の指導のもと「とーしんどーい」のエイサーを踊りました。

その後、給食も一緒に頂きました。この日のメニューは、沖縄の食文化に触れてもらおうと、「イナムドゥチ・タマナーチャンプルー・県産パインゼリー」が出ました。また、ご飯のお米は、山形県産の「つや姫」が最上の皆さんから提供されました。

最後のお別れ式では、「沖縄と山形とは遠く離れているけれど、今回、お互いの文化の違いやいいところをいっぱい知ることができた。また、沖縄に来たい」などの声が聞かれました。

今回の学習を通してお互いの友情を深めることもできたようです。

今回の体験学習にご協力を頂いた、講師の皆様、保護者ボランティアの皆様、ありがとうございました。

